

【市長と語る懇談会 記録】

開催日 平成 26 年 12 月 11 日（木）

地区 明野小学校区

会場 小俣北部公民館

参加者数 8 人



《質問・意見》

新聞等で伊勢市のPRをもっとやってほしい。

市内の駐車場の充実が必要である。そうすれば観光や各種大会などでも伊勢市を訪れやすくなる。

ご当地ナンバーを導入してはどうか。例えば「三重伊勢」や「伊勢」として、伊勢市のPRになると思う。

高齢者の免許返納後の身分証明を伊勢市として発行してはどうか。

《回答》【市長】

住民の生命と財産を守ることが一番の使命で、今はそこに力を入れて進めています。例えば小中学校の再編や伊勢病院の整備、防災や観光もそれぞれ事業がありますが、まずは地域住民の方が健康で長生きしていける環境整備を進めています。観光のPRについてもしっかりと情報発信していきます。ご当地ナンバーについては一度締め切られましたが、今後も検討していきたい。

《質問・意見》

広報いせ等について「詳しくはホームページを」というのがあるが、ホームページを見ることができないという方は多いと思う。伊勢市の重大な計画については冊子にして出してほしい。これがPRにもつながると考える。

地域振興課の充実を図ってほしい。高齢者は本庁までなかなか行けない。受付、相談業務のサービスをしっかりやってほしい。

公民館の補修事業の補助について、合併前からの補助が無くなったので区費で補修をしたら、翌年度から新しい補助金の制度ができた。もう少し考えてやってほしい。

《質問・意見》

補足説明をすると、広報いせを見てホームページの第二次総合計画を検索したら 200 ペ

ージもあった。印刷するのは時間もかかるので、各自治区に1冊いただきたい。興味のある方は勉強してくれるし、知らない方にも周知できる。

地方創生について、総合計画の内容に入っているか分からないが、市長の意見をお聞きしたい。

《回答》【市長】

総合計画も含め、市の大事な計画については自治会に冊子をお送りするようにしたい。地方創生については、具体的にはこれから決まってくる。まちづくり協議会でやっていく事業なども当てはめられないかと思っています。国の計画に合わせてやっていきたい。

《回答》【副市長】

地域振興課の充実については地域審議会の要望にもあります。今後検討していきたい。公民館の補修補助についてはタイミングが悪く、申し訳なく思っています。

《質問・意見》

まちづくり協議会について、参加した者がやりがいを感じて満足できるような、また団体間の横の連絡を密にして継続できるような組織にしてほしい。

老人会について、以前に比べて組織が少なくなった。やりがいがないというのが大きな理由である。これからの高齢者社会、市としても老人会についてまちづくり協議会に協力を要請してはどうか。

《回答》【市長】

まちづくり協議会は設立がゴールではなく、10年後20年後のためにコツコツやっていくことが大事だと思っています。横のつながりのお話について、老人会だけでなく各種団体との連携のため市が環境整備をやっていきたい。

《質問・意見》

市長の「笑子・幸齢」はすばらしいテーマである。「笑子」について、我々医療従事者としては、医療費を無料にするということは不必要な受診、時間外の受診、必要無い検査が増えるといったことがあり、子供さんに笑ってもらうためにはこれが必ずしも正解とは思っていない。

次に「幸齢」について、市民病院でリハビリをしてお家に戻っていただく、という市長の説明であるが、その先、安心して人生の最期を迎えるところ、息を引き取るところを保障することが、幸せに生きていくことの一つであると考えます。この地域では福祉は行き届いているが、最期を自宅で迎えることができるか危惧している。

《回答》【市長】

子供の医療費の関係について、当事者である方から貴重なご意見をいただき、感謝いたします。利用者に対しての意識啓発等も検討し、学校を通してやっていきます。

次は、終の棲家の話であり、個人の死生観ともつながる難しい問題です。高齢者の方の孤独死も少なくない状況でなかなか答えが見つかりませんが、国の方針である医療費の削減には違和感を抱いており、健康で長生きするためにどうするかが先決だと考えます。いろいろな形での最期の看取り方がある上で、それぞれの考え方に添えるような環境整備が望ましいと考えています。

《質問・意見》

この懇談会に来て参加者が10名不足というのは寂しい。先ほどから、どのようにPRしたらよいかという話が出ているが、まずこういう会議に出てもらうようPRするのが大原則だと思う。

《回答》【市長】

地域懇談会を含めて5年間で市内を6、7周回らせていただきましたが、まず地域差があるということと、時間設定をもう少し考えたほうが良いと感じました。下水道料金のようなテーマであると皆さまの関心もあり、2～300名来ていただけることもありましたので、テーマを絞るのも一つと感じています。今回24地区を回らせてもらい、多いところでは30名くらい、少ないと10名くらいです。時間設定も含め今後の課題としていきたい。

《質問・意見》

消防庁舎の防災センターについて、神戸や京都の体験施設のようなものがあれば良い。

まちづくり協議会の事業として、明野小学校から大仏山まで避難訓練をした。3回目であるが、年々時間も短くなり成果が出ている。また、あいさつ運動にも取り組んでおり、効果が出ている。できれば幼稚園、小学校でも避難訓練やあいさつ運動に取り組んでほしい。

《回答》【市長】

防災センターについては、体験できるようなものも多少は組み込みますが、避難施設や防災用具に重点をおいて予算配分していますので、ご了承いただきたい。

今年の9月から「子ども未来会議」が始まりました。そこで子供たちが地域の活動を敏感に感じ取って発言するということもあり、我々は子供たちに恥ずかしくないような活動をしていくことが大切です。また子供たちが主体的にまちづくりに参加できるようなことも盛り込みたい。

《質問・意見》

伊勢市に住んで5年になる。伊勢神宮があることから雅楽が盛んなイメージがあったが、実際にはそうでもない。子供たちに雅楽や音楽を身近に体験できるようにしてあげたい。

《回答》【市長】

雅楽や神宮の行事は、奉納ということが中心になっていますので、皇學館大学の雅楽部などに連携してできないかどうか相談してみます。理想としては地区で受け皿を作ってもらい、ワークショップ形式で体験できると良いと思います。

《質問・意見》

先ほどの方が言われたような受け皿として、私は「子どもチャレンジ教室」という土曜・日曜の体験学習をやっている。小俣小学校と明野小学校にもパンフレットが行っていると思う。1月5日には図書館でカルタ取り大会、めんこ、剣玉などをやる。他にも陶芸や布花、パッチワークなど芸術活動もあるので、参加してみてもどうか。

伊勢市の学力テストの結果はどうだったのか。

《回答》【市長】

三重県、全国平均とほぼ変わらないくらいでした。

《質問・意見》

玉城町は今年の4月から土曜授業をやっているが、4つの小学校が別々の日にやっている。伊勢市は今検討していると思うが、いろいろなまちづくりのイベントがあるとき、土曜授業が別々では学校によって参加できない場合がある。また中体連などは、2年も3年も前からグラウンドや会場を押さえているということもある。市内では土曜授業の日を統一するよう、教育委員会に助言をしてほしい。

《回答》【市長】

伊勢市の土曜授業の実施が遅れているのは、それぞれの学校、地域のスポーツクラブ、スポ少でいろいろな活動があって、それを整理しているためです。ご意見はきちんと伝えていきます。